

解答

一

- | | | | | |
|-------|------|-------|------|--------|
| ① がんそ | ② まる | ③ しりぞ | ④ き | ⑤ りきせつ |
| ⑥ 貧富 | ⑦ 飼育 | ⑧ 拝 | ⑨ 手帳 | ⑩ 対岸 |

二

問一 通過儀礼、年中行事
問二 時間の連続の中に切れ目や節目をつくる考え方。

問三 ーウ 2 イ

問四 C

問五 現代ではい

問六 昔から日本の農民や漁師たちが、経験から天候の変化を予知する知識を会得していたこと。

問七 征服

問八 緻密で正確な自然観察をすることによって、はじめて日本人は生きてゆくことができるので、自然は最も恐れるべき神に近いものであって、人間はこれに絶対服従すべきものだということをお前提としているから。

問九 お正月には正月飾りをしておせち料理を食べ、年賀状を友人と送りあった。

三

問一 三寒四温

問二 ーエ 2 ア 3 ウ 4 オ 5 イ

問三 仄かに甘い

問四 精神

問五 前世代の日本人たちは日本の内地の自分のふるさとを大切にしているから。

問六 ふるさとを感じるのは日本が大連かどうか気にしていないこと。

問七 客観

問八 ウ

問九 自分が意地悪く抱いたにせのふるさとという言い回しが、中学生の時のある経験を連想させたということ。
問十 大連のアカシヤを日本のよりも美しいと思い義憤し、大連をふるさとと再認識した。